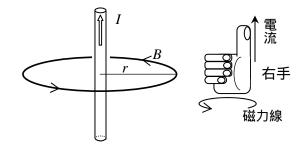
[第9回目]直線電流がつくる磁場 考える内容

・ 電流のまわりで磁場がどのようにできるか 今日の授業の目標

直線電流がつくる磁場

$$B = \frac{\mu}{2\pi} \frac{I}{r} \quad [T]$$



右ねじの法則

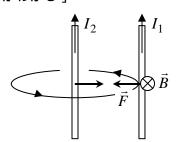
電流が右ねじの進む向きとして、磁場は右ネジを回す向き

学習到達目標(4)**直線電流がつくる磁束密度を図を使って説明できる**。 「教科書 138 ページのように磁場ができることがわかる]

真空の透磁率
$$\mu_0 = 4\pi \times 10^{-7}$$
 [N/A²]

平行直線電流の間に働く力 (アンペールの実験式)

$$F = I_1 l B = \frac{\mu}{2\pi} \cdot \frac{I_1 I_2}{r} \cdot l [N]$$



次回予定[第10回目]アンペールの法則(教科書147ページまで)

 $A\cdots$ 問 1 直線電流I [A]が,垂直距離r [m]だけ離れた位置に作る磁束密度の大きさBを表す式を書け[教科書の式 (28.2)]。 Λ

B… 問 2 教科書 141 ページの演習問題 A.28 を答えよ。

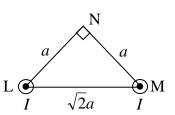
 $B\cdots$ 問 3 I=1.0 [A]の直線電流から垂直距離でr=0.010 [m]離れた位置での磁束密度の大きさ Bを数値で求めよ。

 $C\cdots$ 地球が作る磁場(地磁気)の,日本の地上での磁束密度の大きさ $B_{ ext{th} ext{wid} ext{5}}$ を調べよ。おおよその値でよい。

(理科年表などの文献,またはインターネットで検索も可)

B… 問 4 教科書 141~142ページの演習問題 B.28 を答えよ。

 $C\cdots$ 問5 強さI [A]の2本の直線電流が、図のように流れている。電流が流れている位置 L と M を頂点とし、電流からの距離がともにa となるような直角三角形の頂点 N での、磁束密度ベクトル \bar{B} の向きと大きさを、ベクトルの合成則を用いて求めよ。



氏名

数値で計算する問題は,答えにも必ず単位をつけること!

問 1 B =

問 2

a)

b)

c)

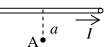
 \odot I

 \otimes 1



a) B =

, 向き:



]

b) B' =

, 向き:

問 3 B=

] Γ

 $B_{
m tu}$ 磁気 =問4

a) B =

, 向き:



b) F =

, 向き:

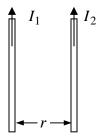


c) F =

, 向き:

a) $B_1 =$

, 向き:



b) $F_2 =$

, 向き:

, 向き:

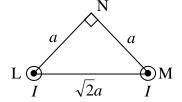
Ε]

c) $F_1 =$

問5 作図する

大きさ B =

合成して求めた \vec{B} 向き:



このレポートをやるのに _____時間_ 分, それ以外に,この講義の予習復習を 時間 分した。